

2020年6月1日

都道府県ホッケー協会 殿
都道府県競技部長・審判部長 殿
日本社会人ホッケー連盟 殿
日本学生ホッケー連盟 殿
全国高等学校体育連盟ホッケー専門部 殿
中学校部会 殿
スポーツ少年団部会 殿
ホッケー日本リーグ機構 殿
公認競技役員 殿

公益社団法人 日本ホッケー協会
技術委員会 委員長 真 喜代司

2019年度発行規則書の訂正について（通知）

平素より、多大なるご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、2019年度発行の競技規則書（2019・2020年度適用）について、訂正箇所がありますので、下記のとおり通知いたします。つきましては、貴管下関係者に周知徹底を図っていただきますとともに、大会運営に支障ないように適用していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 競技規則書 P25、4. 2 「プレイヤーの服装と装備」注釈について
下記赤字部分追加、及び横線部分削除をお願いします。

ペナルティコーナー及びペナルティストロークの実施中、サークル内でその守備を行う場合、

及びペナルティコーナーの守備をしている間に守備側にフリーヒットが与えられて、直後に行うフリーヒットが他のプレイヤーにパスをする場合、顔に密着するようなフェイスマスクの着用が許される。フェイスマスクは、表面がなめらかなものか、顔の形に添った金属製の網（ガード）のついたもので、色は透明か白、ほかの色の場合は単色であればよい。

- 2 競技規則書 P144、6人制 13. 6-d 「罰則の実施手順」注釈について
下記横線部分を削除し、赤字のとおり修正をお願いします。

「継続（アゲイン）のペナルティコーナー」ではなく、いったんペナルティコーナーが終了要件に沿って解除された後に、再度ペナルティコーナーになった場合は、最大~~5名~~4名のプレイヤーによって守備をすることができる。

※ このことについて何かありましたら、下記まで問い合わせください

公益社団法人 日本ホッケー協会 技術委員会 規則検討室長 平尾 豊

TEL 090-7372-0054

Eメール a54_hirao@yahoo.co.jp